

学習指導案

科目名	情報の科学		担当者	実施日	令和 5 年 7 月 19 日					
単元名	第3章 情報システムが支える社会		6	時間目 /	20 時間数					
主題	第2節 安全な情報社会を目指して 4.技術・文化の発展と知的財産権									
本時間の学習目標		・知的財産権制度の意義や内容について理解する。								
段階	分	内容・ねらい	学習活動	指導上の留意点	評価					
					具体的評価規準との対応					
					関	思	技	知	評価方法	
展開	10	本時の内容につなげる	<p>寸劇を入れてみる。 ネットから見つけてきた他人が描いた絵を無許可でグッズに加工して売ることになった、という設定で小芝居をする。</p> <p>配布したワークシートに思ったことを書かせる。</p>	著作権が実生活の中でどのようにはたらいているのかを実感してもらう。	○				行動観察 ワークシート	
	10	グループワーク	<p>・寸劇を見て、著作権的によくない点を挙げる。その後、交流。</p> <p>・知的財産権を説明する。(この時説明するのは内容のみ。意義は後の交流で触れる)</p> <p>・知的財産権がないとどのような不利益を被るか考え、グループで交流する。(意義について考えさせる)その後、交流。</p>	<p>積極的に意見を出し合える雰囲気を作る。 ・何が問題なのか ・自分が被害に遭ったらどんな気持ちになるか、またどのような影響が起こるか</p> <p>【望ましい回答例】 著作権侵害によって創作者の経済的利益、創造的努力が踏みにじられる。創作意欲がなくなり、活動が抑制され、廃れる。</p>	○	○		○	行動観察	
	20	1つ目の学習課題について	<p>・知的財産権の意義を説明する。 ①知的財産権の一覧を整理した図表を用いて、特徴を抑えながらわかりやすい説明を行うようにする。 ②産業財産権・著作権に分け、身近な例を挙げて説明する。</p> <p>穴埋めワークシートを用い、P85を参考にしながら問題を解かせる。 この後、交流</p>	<p>著作財産権の種類が多さに気圧されることが考えられる。ワークシートに直接書き込めるようにすることで、話を聞くだけの受動的な授業になることを防ぐ。</p> <p>ワークシートの中に教科書の範囲外からの問題を入れ込むことで、グループの話し合いの活発化を狙う。</p>					○	ワークシート 行動観察
まとめ	10	本時のまとめ	知的財産権制度の意義や内容について理解できたかをワークシートに記入。 今後の生活で著作権を侵害しないためにできることを書いてもらう。	意見交流したことから具体的にまとめ、授業内容を理解させる。 生徒自身の言葉で授業をまとめてもらう。					○	ワークシート